

平成30年度

嬉野市健全化判断比率及び
資金不足比率審査意見書

嬉野市監査委員

嬉 監 第 7 4 号
令和元年8月28日

嬉野市長 村上 大祐 様

嬉野市監査委員 西 川 平 七

嬉野市監査委員 富 永 敏 文

平成30年度嬉野市決算に係る健全化判断比率及び
資金不足比率審査意見書の提出について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定により審査に付された、平成30年度嬉野市決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類の審査を実施したので、その結果について次のとおり審査意見書を提出します。

平成30年度嬉野市健全化判断比率 及び資金不足比率審査意見書

第1 審査の対象

平成30年度の各会計の決算等に基づく、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率及び資金不足比率並びに算定の基礎となる事項を記載した書類を審査の対象とした。

第2 審査の期間

令和元年8月5日から令和元年8月22日まで

第3 審査の方法

この審査に当たっては、以下の点に着眼し、これらの算定の基礎となる事項を記載した関係書類と照合を行うとともに、関係者から説明を聴取し実施した。

- ① 法令等に照らし算出過程に誤りはないか
- ② 法令等に基づき適正な算定要素が計算に用いられているか
- ③ 算定の基礎となった書類等が適正に作成されているか
- ④ 客観的事実の妥当性を判断したうえで算定を行う場合において、公正な判断が行われているか

第4 審査の結果

1 健全化判断比率について

審査に付された下記の健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認めた。

(単位：%)

健全化判断比率	平成30年度	平成29年度	平成28年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	—	13.81	20.00
連結実質赤字比率	—	—	—	18.81	30.00
実質公債費比率	9.0	8.3	7.7	25.0	35.00
将来負担比率	68.5	69.3	70.7	350.0	

備考 実質赤字比率及び連結実質赤字比率の算定において、赤字額がない場合は、「—」を記載した。

【審査の意見】

(1) 実質赤字比率について

平成30年度の実質収支が黒字となっているため、実質赤字比率は算定されず、健全な状態であると認めた。

(2) 連結実質赤字比率について

平成30年度の連結実質収支が黒字となっているため、連結実質赤字比率は算定されず、健全な状態であると認めた。

(3) 実質公債費比率について

平成30年度の実質公債費比率は9.0%で前年度より0.7ポイント悪化している。早期健全化基準の25.0%を下回っているが、今後も長期的視点に立った効率的・効果的な財政運営が必要不可欠である。更なる適切な債権の管理と計画的な償還に努められたい。

(4) 将来負担比率について

平成30年度の将来負担比率は68.5%で前年度より0.8ポイント改善し、早期健全化基準の350.0%と比較するとこれを下回っているが、今後も長期視点に立った効率的・効果的な財政運営が必要不可欠である。

【是正改善を要する事項】

特に指摘すべき事項はない。

2 資金不足比率について

審査に付された下記の資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認めた。

(単位：%)

会 計 名	資金不足比率			経営健全化基準
	平成30年度	平成29年度	平成28年度	
嬉野市水道事業会計	—	—	—	20.0
嬉野市農業集落排水特別会計	—	—	—	
嬉野都市計画下水道事業嬉野市 公共下水道事業費特別会計	—	—	—	
嬉野市浄化槽特別会計	—	—	—	

備考 資金不足比率の算定において、赤字額がない場合は、「—」を記載した。

【審査の意見】

嬉野市水道事業会計、嬉野市農業集落排水特別会計、嬉野都市計画下水道事業嬉野市公共下水道事業費特別会計及び嬉野市浄化槽特別会計全てにおいて資金不足は生じていないため、資金不足比率は算定されず、健全な状態であると認められた。引き続き経営の効率化、健全化に努められたい。

【是正改善を要する事項】

特に指摘すべき事項はない。